

# 保育所における自己点検・自己評価

- A : たいへん良い  
 B : 良い  
 C : 一部検討を要する  
 D : 改善を要する

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標に	(1)保育目標を具体化し、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			十分に養護の行き届いた環境の中で、子どもたちの年齢発達に合わせ、個々の発達に合わせた目標を設定している。
	(2)設定した重点目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			子どもの主体性を大切にしながら、保護者の願いに耳を傾け、安定した保育が出来るように努めている。
保育にて	(1)指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			子どもの年齢発達に合わせて作成している。一日の流れを通して個々の育ちを考慮して作成している。
	(2)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫しているか。		○			日々の生活に合わせ、季節の変化等、子どもが積極的に関わるように工夫している。年齢に応じた活動を取り入れている。
行事にて	(1)行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			季節の行事にあつた行事計画も、伝統行事を取り込みながら、子どもたちが意欲的に関わり参加出来るようにしている。
	(2)乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○				乳幼児の主体性を十分に理解し、意欲的に活動出来るように対応している。心の育ちを大切にした取り組みをしている。
分掌・体制	(1)能率的、合理的な運営組織になるよう努力しているか。	○				職員がそれぞれの役割を理解し合い、互いに声を掛け合い連携をとっている。より良く進められるよう努力している。
	(2)職務内容を理解し、協働できる体制になるよう努力しているか。	○				職員が役割を十分に理解し効率よく作業出来るよう体制を整えている。
	(3)割り当てられた係や仕事を完遂する努力をしているか。	○				係担当者が事前に、内容を把握しながら連携をとっている。協力しやすいように仕事の進み具合をボードに記録している。
経営・組織	運営	(1)自己の職責を理解し、協力や助言を惜しみことなく施設の運営に関わっているか。		○		それぞれの職責を十分に理解し互いに気持ちよく働けるように努力している。利用者の気持ちに寄り添いながら運営を作り出している。経験の差で捉え方、言葉の伝え方に異なる努力が必要。
	保健・安全指導	(1)年齢別・クラス経営に生かされるような、具体的な保健対策を行っているか。	○			子どもたちに感染防止の為に、手洗いうがいが積極的に行われる様に表示を見やすくしている。元気にしている。
研修	(2)避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				避難訓練については1日のうち色々な時間を想定して計画をし、その状況に合わせ実施している。就学前の交通安全指導も行っている。
	(3)健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				一人ひとりの健康状態を把握しながら、必要に応じ保育の中でも十分に観察し、正しい情報を保護者に知らせている。感染症の蔓延を防ぐ為、保護者に掲示し知らせている。
	(4)乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか。		○			行政からの最新の情報の共有や、室内外の安全点検を徹底して行う。絶えず子どもの目標に立ち必要な関係機関と連携をとっている。
	(1)資質向上及び自己啓発に努めるための研修会には積極的に参加し、自己研鑽に努めているか。	○				内部、外部共に研修は充実している。年齢発達に応じた研修や専門職として、スキルアップの研修を取り入れている。
	(2)研修会、講習会、地域におけるボランティア活動に興味を持ち、自ら積極的に参加しているか。		○			保育の専門性を高めるために研修会等充実している。ボランティア活動については、個人の諸事情などを考慮し無理のない参加となる。

項目	内容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	(1)乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。	○				個人情報についてはマニュアルに基づいて適正に行い、不要なものについてはシュレッダーをかけている。
	(2)各表簿は、適正な時間・方法で作成、処理しているか。	○				各表簿についても適正な時間・方法で作成処理をしている。
施設・設備	(1)施設内外・設備の安全点検を計画的に行い、不都合が生じた場合には迅速な報告・対応・処置を行っているか。	○				毎日、毎月必要な個所の点検を必ず行い、不備に気づいたら最善な方法で対処している。
	(2)不審者等に対する周到な配慮を行っているか。	○				月末に必ず防犯訓練を行い不審者の侵入や合言葉、園外に出るときは、ココセコムや携帯を常備している。
開かれた保育所づくり	家庭・地域との連携	(1)保護者や地域の人たちと連携しているか。	○			アンケートを実施したり、保護者の意見には耳を傾けている。地域の方々とは良好な関係である。
		(2)乳幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。また、その意義を理解しているか。	○			地域への活動も年長組が積極的に行う。保育室での交流、園庭開放では子育て支援の大切さを理解している。
		(3)地域におけるボランティア活動に積極的に参加しているか。 また、地域の文化や生活に触れているか。	○			出来る限り、地域への行事わくわくフェスタなどにも参加し交流を図っている。近隣に神社、寺院などもあるので季節の風習にも触れている。
	子育て支援の連携	(1)地域の子育てセンターとして、保育園の実績や状況に応じながら事業を計画し、積極的に実施しているか。	○			毎週木曜日には、園庭開放や絵本の貸出、育児相談などを実施し、交流保育の時には積極的に保育室の開放を行っている。
		(2)地域に住む子どもどうし、あるいは親子が一緒に遊ぶことができるような場の設定を行う意義を理解しているか。 また、交流を図ることに前向きであるか。	○			子育て支援の重要性は各職員よく理解している。交流保育を楽しんで利用して頂けるよう工夫している。
	評価部	(1)地域の保育園理解に積極的に努めているか。また、保護者の意見を知る努力をし、相互の連携を図り、保育に反映させているか。		○		地域の方々には、保育園の運営に理解を頂いている。行事の時には、その都度お知らせを発行したり、アンケートも実施し連携を図りより良い保育園づくりの為に反映させている。